

日本腰痛学会評議員会議事録

開催日時：平成 19 年 11 月 9 日（金） 16：30～17：00

開催場所：シティプラザ大阪 4F 会議室 議長：米延策雄 会長

出席者：理事 10 名、評議員 20 名 委任状 24 名

会長挨拶

米延会長より、第 15 回日本腰痛学会開催についての報告がなされた。

議事

I. 報告事項

1. 庶務報告

1) 会員の動向

平成 19 年 10 月 30 日現在の会員数は 824 名で、今年度の新入会者は 24 名、退会者は 74 名と報告があった。

2) 事業報告

(1) 学術集会の開催

第 15 回学術集会が開催平成 19 年 11 月 10 日（土）シティプラザ大阪（米延策雄会長）にて開催予定である。

(2) 委員会報告

平成 19 年 11 月 9 日 大阪に於いて理事会、評議員会が開催され、11 月 10 日には編集委員会が開催予定である。

(3) 1 年間の事務局活動

- 1) メディカルオンライン、J-STAGE 上での電子ジャーナル化の契約を行った。
- 2) 外科関連学会協議会に加盟した。「症例報告を含む医学論文及び学会研究会発表における患者プライバシー保護に関する指針」に賛同する。

(4) 学会誌の発行

平成 19 年 11 月 7 日に第 13 巻 1 号を 1250 部発行した。投稿論文数は 35 編 である、内容は一般投稿 20 編、特別寄稿 2 編、学会の主題からの特集 7 編、特別企画 6 編である。

2. 2007 年優秀論文賞について

審査委員会による審議の結果、横浜私立大学整形外科 青田洋一生先生の論文 “連動型腰椎用 CPM による長時間着座姿勢における腰痛の予防効果” に決定した。

II. 審議事項

1. 平成 18 年度決算報告

配付資料に基づき決算報告がなされ、監事よりの監査結果を会長が代弁し、承認された。

2. 平成 19 年度の事業計画、予算案審議

学術集会の開催、学会誌の発行、委員会の開催予定および予算案が提案され、承認された。
但し、学会補助金を現行の 150 万円から 200 万円に増額された。

3. 次々々期会長の選出について

自治医科大学整形外科教授 星野雄一先生が推薦され承認された。

4. 新役員、新評議委員について

新理事に星野雄一先生（自治医科大学整形外科教授）が推薦され承認された。評議員の交代では鈴木信治先生、青木義昭先生、今井 健先生、田島健 先生、佐々木信之先生の後任としてそれぞれ、稲田 充先生（NTT 西日本東海病院整形外科部長）、大西正康先生（鹿島整形外科院長）、小西 均先生（せのお病院診療部長）、乗上 啓先生（盛岡友愛病院脊椎脊髄神経外科部長）、兵藤弘訓先生（仙台整形外科病院整形外科部長）が推薦され承認された。また新評議員として山下敏彦先生（札幌医科大学整形外科教授）が推薦され承認された。

5. 新入会者について

非医師入会者として尾崎勝博先生（野崎東病院アスレチックリハビリテーションセンター部長・理学療法士）、房野絹可先生（野崎東病院アスレチックリハビリテーションセンター・理学療法士）が推薦され、承認された。

6. 脊椎関係統合雑誌への参加について

会長より雑誌の統合の重要性について意見が述べられ、理事の賛同が得られた。詳細については各学会の編集委員会を代表するものの会議が必要で、本学会からは高橋和久副編集委員長が担当する事が確認された。

7. Spine Week の検討

会長より各脊椎脊髄関連学会は開催時期・開催地を重ねることで、学術集会の運営や、会員の学会出席関する負担を軽減させる趣旨の提案がなされ、賛同が得られた。

8. 第 81 回日整会特別ポスター展示について

第 81 回日本整形外科学会学術総会より“整形外科の未来を拓く”特別ポスター展示の企画依頼があり、日本腰痛学会の歴史と今後の展望をテーマにして参加することが決定した。

10. 評議員の推薦について

評議員の定数について事務局で検討した上で、整形外科医以外の医師や理学療法士の参加を促

すこととなった。

III. 次期会長挨拶

第16回日本腰痛学会会長として野原 裕先生（獨協医科大学整形外科教授）が挨拶され、会期は平成20年11月1日（土）、シェーンバッハ・サボー（東京）にて開催予定の旨が報告された。

第17回日本腰痛学会会長として四宮謙一先生（東京医科歯科大学整形外科教授）が挨拶され、会期は平成21年11月21,22日、東京カンファレンスセンター品川（東京）にて開催予定の旨が報告された。